

平成26年12月24日 第34号
発行：東京二十三区清掃一部事務組合
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目5番1号
TEL 03-6238-0613~5 FAX 03-6238-0620

東京二十三区清掃一部事務組合は、
循環型社会の形成を目指しています。
<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>

大田清掃工場がしゅん工し、落成式を行いました

新しい大田清掃工場が、平成26年9月30日にしゅん工しました。清掃一組としては、平成20年3月の世田谷清掃工場以来のしゅん工となります。

大田清掃工場の工事は、平成21年6月から旧第二清掃工場の解体工事、平成22年6月からは建設工事と、約5年にわたって行われました。

大田清掃工場は、羽田空港や東京湾を臨む大田区京浜島地域にあり、施設規模は、1日当たりの処理能力が300トンの火格子焼却炉を2基設置しており、合計で600トンです。

施設の主な特徴として、「地域環境との調和」、「地球温暖化の防止」、「自然エネルギーの利用」が挙げられます。

はじめに、「地域環境との調和」では、臨海部の街並みに調和するよう工場棟、煙突ともに旧第二清掃工場と同程度の高さとし、建物の壁面及び構内の積極的な緑化を図っています。

次に、「地球温暖化の防止」では、ごみ焼却時に発生する熱を効率的に回収する高効率ごみ発電設備を導入しました。これにより蒸気タービン発電機の定格出力は22,800kWとなり、1炉運転時でも安定的な売電が可能となります。また、資源やエネルギーの消費を抑制し、環境への負荷をできるだけ少なくするために、設備機器へのインバータ制御の導



しゅん工した大田清掃工場



エントランス棟3階の中庭

入や、LED照明を採用するなど、電力使用量の削減にも努めています。

さらに、「自然エネルギーの利用」を積極的に図るため、清掃一組が運営する清掃工場では、初めて、地中熱を利用した空調設備を見学者説明室に採用するとともに、屋上や壁面のスペースを利用して、発電量が最大で105kWとなる太陽光発電システムを設置しています。

平成26年10月20日(月曜日)には、大田清掃工場のしゅん工を関係者にお披露目する、落成式を開催しました。

当日は、大田区長、大田区議会議員の方々をはじめ、大田清掃工場運営協議会委員や地元関係団体代表、東京都環境局や清掃一組議会議員、清掃関連団体などから63名の来賓の方にご出席をいただきました。

式典では、はじめに、管理者である西川太一郎荒川区長から、地元関係者や行政機関、工事関係者などに感謝の言葉が述べられるとともに、「清掃工場は快適な都市生活を送る上で、なくてはならない施設であり、以前にも増して、地域に信頼される施設になるように努めてまいります」との式辞がありました。

次に、建設部長の工事経過説明のあと、大田区の松原忠義区長、大田区議会を代表して清波貞子副議長、東京都の長谷川明環境局長から祝辞をいただきました。

式典の最後には大田清掃工場長から、「2代目大田清掃工場として生まれ変わり、新たな決意で、安全を最優先に、安定・安心の清掃工場を目指していきたい」と謝辞を述べ、式典は滞りなく終了しました。

式典の後、清掃一組職員の案内のもと、施設見学を行いました。工場内の各見学ポイントでは、新しい清掃工場の特徴や、焼却に係る機器について説明しました。



定格出力22,800kWの蒸気タービン発電機



大田清掃工場落成式の様子

東京二十三区清掃一部事務組合議会議員が 中防処理施設及び埋立処分場を視察しました

平成26年11月12日（水曜日）に清掃一組議会が、中防処理施設と東京都が管理する中央防波堤外側埋立処分場を視察しました。

中防処理施設では、施設概要の説明の後、はじめに、不燃ごみ船舶輸送の揚陸施設で揚陸作業をご覧いただきました。揚陸施設には、千代田区三崎町と北区堀船の中継所から、不燃ごみが船舶で運ばれてきます。ここでは、ごみクレーンを使い船舶からダンプ車に積み込み、中防不燃ごみ処理センターへ運びます。清掃一組議員からは、一日当たりの船舶数や搬入量について質問がありました。

次に、中防不燃ごみ処理センターの不燃ごみ受入ヤードと鉄分貯留ヤードへ向かいました。不燃ごみ受入ヤードは、各区で収集した不燃ごみを収集車両から降ろす場所です。ここでは、サーマルリサイクル後の不燃ごみの減少状況などを説明しました。鉄分貯留ヤードは、破碎後の不燃ごみから磁選機で鉄分を回収し、プレスされた鉄分ブロックを売却するため貯めておく場所です。清掃一組議員からは、売却単価や搬出用トラックへの積込方法などについて質問がありました。

続いて、粗大ごみ破碎処理施設の粗大ごみ受入ヤードに向かいました。ここでは、各区で収集した粗大ごみを降ろし、可燃系と不燃系の粗大ごみを手作業で選別作業を行います。



中防処理施設管理事務所見学者説明室の様子



揚陸施設での不燃ごみ揚陸作業の様子



鉄分貯留ヤードでの作業の様子

最後に、中央防波堤外側埋立処分場に向かいました。ここでは、見晴らし台から焼却灰の埋立状況をご覧いただきました。また、指定廃棄物一時保管場所での空間放射線量率の測定作業などを説明しました。



中央防波堤外側埋立処分場の視察の様子

東京二十三区清掃一部事務組合議会報告

◆平成26年第3回定例会（平成26年9月24日開催）

○議案・報告

番号	件名	概要	結果
認定 1	平成25年度東京二十三区清掃一部事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入決算額 872億823万3,192円 歳出決算額 827億768万4,428円	認定
議案 14	目黒清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事請負契約の締結について	焼却炉補修及びその他整備工事 契約金額 3億6,072万円	可決
議案 15	足立清掃工場焼却炉補修及びその他整備工事並びに熔融処理休止に伴う改造工事請負契約の締結について	焼却炉補修及びその他整備工事並びに熔融処理休止に伴う改造工事 契約金額 14億4,828万円	可決
議案 16	中防不燃ごみ処理センター第二プラント補修工事請負契約の締結について	プラント補修工事 契約金額 5億1,624万円	可決
議案 17	和解について	東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故に起因した損害賠償金(平成24年度分)の支払いについて 損害賠償金額 8,570万1,145円	可決
報告 5	専決処分した事件の報告について	目黒清掃工場車両物損事故に伴う損害賠償額の決定及び和解について	
報告 6	専決処分した事件の報告について	大田清掃工場建設工事請負契約の契約変更について	
報告 7	専決処分した事件の報告について	練馬清掃工場建替工事請負契約の契約変更について	